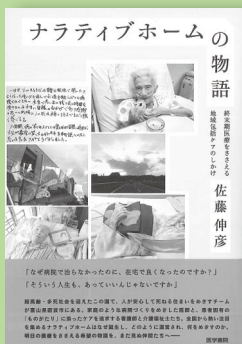


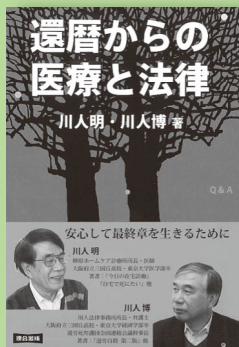
今月の 新刊紹介



ナラティブホームの物語 終末期医療をささえる 地域包括ケアのしかけ

著：佐藤伸彦
発行：医学書院
定価：本体 1800 円＋税

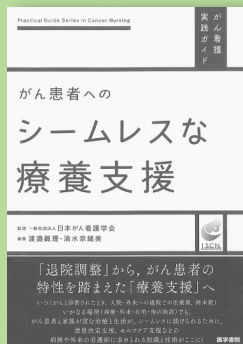
“家庭のような病院づくり”との理想を掲げた医師と、患者 1 人ひとりの個性あふれる「ものがたり」に寄り添う看護師、介護福祉士たちがつくりあげた「ナラティブホーム」。その誕生の軌跡と日常風景がここに。あるがままの終末期を支えるための「地域包括ケアのしかけ」が見える。



還暦からの医療と法律

著：川人明／川人博
発行：連合出版
定価：本体 1600 円＋税

下町で在宅医療に取り組む兄・川人明医師と、過労死問題に取り組む弟・川人博弁護士。一貫して庶民の側に立って仕事をしてきた 2 人が、高齢者に身近な医療問題・法律問題を分かりやすく解説する。2025 年問題の中心層となる団塊の世代に向け、「安心して最終章を生きるために」贈る 1 冊。



《がん看護実践ガイド》 がん患者への シームレスな療養支援

編：渡邊眞理／清水奈緒美
発行：医学書院
定価：本体 3000 円＋税

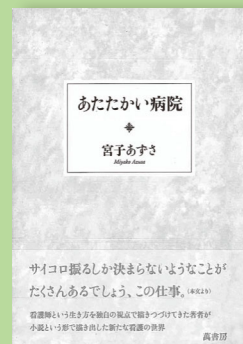
日本がん看護学会の学会事業として企画された「がん看護実践ガイド」シリーズ。本シリーズでは、臨床実践で優先的に取り上げるべきトピックに関連する実践的アプローチを解説する。第 1 段である本書では、がんとともに生活する人々に対する診断時から終末期までの包括的な支援策を取り上げた。



看護制度と政策

著：野村陽子
発行：法政大学出版局
定価：本体 5300 円＋税

厚生労働省医政局看護課長を務めた著者が、看護の歴史の変遷をたどり、多様なアクターによる政治的決定過程を具体的に検証しつつ、今後の公共医療のありかたを問う提言の書。現場の看護師が専門性・自律性を持って働ける環境整備のために必要な制度変更を考察する。



あたたかい病院

著：宮子あずさ
発行：萬書房
定価：本体 1800 円＋税

「サイコロ振るしか決まらないようなことがたくさんあるでしょう、この仕事」(本文より)——「看護師という生き方」を当事者だからこそこの視点で見つめ続けてきた著者が、小説という形で描き出した新たな看護の世界。著者らしいあたたかな筆致で、今の看護現場の人々の関わりを紡ぐ。



1年で育つ! 新人&先輩ナースのための シミュレーション・シナリオ集 冬編

編著：阿部幸恵
発行：日本看護協会出版会
定価：本体 2400 円＋税

1 年で新人看護師の実践力を育てるための「シミュレーション教育シナリオ集」の第 4 弾。春夏秋を経て冬を迎えた新人たちが、自信を持って 2 年目を迎えられるよう、「ショック」への対応を中心テーマとして取り上げ、先を見越したケアを実践する力を育むシナリオ教材と解説を 1 冊にまとめた。